科学研究費助成事業研究成果報告書

令和 4 年 9 月 2 0 日現在

機関番号: 11301

研究種目: 基盤研究(B)(一般)

研究期間: 2016~2020

課題番号: 16H03608

研究課題名(和文)東日本大震災からの経済復興・産業再生における政策ツールの有効性評価

研究課題名(英文) Evaluation of the Effectiveness of Policy Tools in Economic Recovery and Industrial Revitalization after the Great East Japan Earthquake

研究代表者

增田 聪 (MASUDA, Satoru)

東北大学・経済学研究科・教授

研究者番号:30231591

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 11,510,000円

研究成果の概要(和文):東日本大震災からの復興計画の策定・評価・改定に関する検討を進め、グループ補助金・利子補給等の支援策が企業活動水準に及ぼした影響を検証し、一定の復興加速化効果の存在等を実証することができた。さらに復興・創生期間後についても、時間経過に伴う被災地企業の景況判断・資金繰り・人手不足感・経営状況を把握するため、企業アンケート調査を2021年度に再実施し、企業の再開・廃業・移転・新設等から見た経済復興の動向を把握した。また、国の復興政策の中心が原発被災地にシフトしていることから、チェルノブイリ事故後の欧州・ロシア等での経験を参照しつつ、原子力災害からの復興・地域再生、農産物の風評被害等の分析も着手した。

研究成果の学術的意義や社会的意義本研究では、日本が人口減少期に向かう中で経験した東日本大震災からの復興において、国・県や基礎自治体が進めた経済復興・産業再生の政策展開の実態とその効果について、企業・住民アンケートや地域統計等に基づく実証的検討を行い、復興政策の事後検証や将来の災害対応の際に考慮すべき重要なエビデンスを示すことができた。またこれまでと同様に企業アンケートの調査結果は、研究のための共有財産としてオープンデータ化し広く利用可能なものとしたい。さらに現在進行形である原発被災地の復興過程についても、チェルノブイリ事故後の各国・各地域との比較研究や農産物流通と風評被害対策等の分析を通じた検証を継続している。

研究成果の概要(英文): We have been studying the formulation and revision of recovery plans after the Great East Japan Earthquake, and have verified the impact of support measures such as group subsidies and interest subsidies on the level of corporate activity, demonstrating the existence of recovery acceleration effects. In addition, a questionnaire survey was conducted again in FY2021 to understand the business conditions and management status of companies in the affected areas after the reconstruction and creation period. This survey shows the new trends in economic recovery in terms of firms' reopening, closure, relocation, and new construction. Lastly, since the focus of national reconstruction policy has shifted to areas affected by the accident of nuclear power plant, we also began analyzing the processes of reconstruction and regional revitalization and the actual conditions of harmful rumors on agricultural products, referring to the experiences in Europe and Russia after the Chernobyl accident.

研究分野: 地域計画

キーワード: 東日本大震災 経済復興 産業再生 政策評価 原子力災害 政策補助金

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等に ついては、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1.研究開始当初の背景

本研究に先立ち、東日本大震災が東北の地域経済・企業活動に及ぼした影響を総合的に評価分析するため、東北大学経済学研究科・震災復興研究センターでは 2011 年 4 月から「地域産業復興調査研究プロジェクト」を開始していた。阪神大震災後に兵庫県経済は長期停滞を経験したが、東北でも発災 5 年を経て短期的復興需要はピークを過ぎ、建設業主体の復興から持続可能な産業再生への移行が求められていたからである。

特に、発災直後から検討が始められた復興計画では、応急復旧~本格復興の復興フェーズに応じて、様々な支援メニューの策定・評価・改定が行われ、「ひと・もの・カネ・情報」に関わる新たな支援ツールの導入も進んだ。しかしながら国や県(及び基礎自治体)の対応では、緊急対応・復興加速化の視点が最優先され、既往災害の経験も含めて、近年注目されるようになったEBPM(Evidence-based Policy Making)的論点が十分には考慮されていなかったのではないかという問題意識から、本研究を開始することとした。

本研究は、東北大学経済学研究科・震災復興研究センターにおいて進めてきた上記「地域産業復興調査研究プロジェクト」の後継プロジェクトでもあり、復興研究に携わる新たなメンバーも研究分担者に加えて、被災現場の実情を見据えながら幅広い学問的知見を踏まえた共同調査・研究を行い、地域の産業・社会を再構築していくための新たなモデルの構想や政策提言を目指して研究を開始した。また、5年間継続して行ってきた大規模企業アンケート「震災復興企業実態調査」を再実施するための調査費用を確保することも、科研応募の背景にあった。

2.研究の目的

本研究では、復興 5~10 年目の期間中、東日本大震災からの復興支援策の実態をリアルタイムでフォローしながら議論の進展を再整理した上で、これまでの産業再生・経済復興において重要な役割を果たしてきた政策ツール(震災後新たに制度導入・拡充されたグループ補助金等を含む)の導入・運用の実績把握・検証を行うことを第1の目的とする。

加えて、1 万社近い企業パネルに対するアンケート調査を再実施し、中・長期に及ぶ時空間分析を可能とするような研究データ基盤(時空間 DB)の整備・公開も目指す。このような震災復興に関わる経済・経営学領域におけるデータ蓄積の試みは前例がなく、将来的にも、研究者屋実務家の間で共有可能な研究データ基盤の構築に繋げていきたい。

さらに、様々な自然災害・原子力災害の広がりの中で、東日本大震災の経験を相対化することも目指して、研究期間内に発生した災害事例やチェルノブイリ原発事故等にも着目し、分野横断型で復興研究を行うための議論の場を用意することも、本研究の目的の1つである。

3.研究の方法

研究代表者・分担者の専門領域に応じて、復興政策・支援ツールの実態については、文献調査・聞き取り調査を実施し、先行研究における知見を踏まえた政策評価・検証方法の理論的フレームを整理検討する。以上の検討を踏まえ、地域経済統計やアンケート調査(上記の企業パネル調査や住民意識の web 調査等)の分析を進め、復興支援策の策定・評価・改定に資する知見の獲得、エビデンスの提示を目指す。

さらに、現場担当者との意見交換から、復興検証に関わる質的情報を把握するため、みやぎボイスにおけるラウンドテーブル等を企画し、毎年度の課題に応じた情報収集・成果発信に心がけた。

4. 研究成果

研究開始にあたり 2016 年度は、東日本大震災からの復興支援策の実態を再整理した上で、これまでの産業再生・経済復興において重要な役割を果たしてきた政策ツールとして、震災後新たに導入されたものを含め「二重ローン対策、復興交付金、グループ補助金」等に着目し、その導入・運用の実績把握を開始した。次ぎに、集中復興期間 5 年間を総括した会計検査報告などを含め、先行研究の整理・レビューから、政策ツール群の評価に関わる論点抽出を行った。特に復興現場の視点を取り入れるため、研究代表者が運営に携わっている「みやぎボイス 2016 (これ以降、毎年実施)」の場において、政策実務者・学識経験者・地域企業経営者・住民等が参加したラウンドテーブルでの議論も開始している。

2017年度からは、東日本大震災以外の災害事例も参照するため、台湾集集大震災、奥尻地震、 熊本地震に着目し、現地調査(現地研究者との連携)や住民意識調査等の活動も開始した。また、 2017年11月の世界防災フォーラムでのセッション「東日本大震災からの経済復興・産業再生: 震災復興モニタリングと地域経済分析の課題」や2022年2月の国立大学協会令和3年度防災・ 日本再生シンポジウム(共催)「東日本大震災からの産業再生・経済復興の検証と展望」等を企 画実施し、年度毎の研究成果公開を進めてきた。また 2018 年度以降は、福島県原発被災地における復興課題を検討するため、農業・水産業・食品加工業等の復興と出戦略を扱う研究も開始し、「東日本大震災後の農業・水産業復興と輸出戦略」のシンポジウム・成果出版を行った。

当初の研究終了年であった 2020 年度に実施を予定していた「震災復興企業実態調査」は、新型コロナの感染拡大により、実施体制や調査対象企業の回答負担等を考慮して、研究期間を 2021 年度まで延長し、コロナ拡大第 5 波の収束を待って 2021 年 11 月に実施した。その結果、岩手県・宮城県・福島県・青森県八戸市に本社を置く企業パネル 9,635 社から回収率 40%を超える回答を得ることができた。その成果速報は、下記シンポジウムで報告し、現在まで詳細検討を進めている。

研究成果の全体像は、2022 年 2 月の国立大学協会令和 3 年度防災・日本再生シンポジウムで報告するとともに、研究書籍(東北大学震災復興調査研究プロジェクト編『東日本大震災復興研究 VI 東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望』、南北社)として出版した。また対外的には、研究成果の一部を 2018 年度末に内閣府防災・防災経済コンソーシアムに提供し、同 HP における「民間企業の地震被害シミュレーション」で活用されている。

5 . 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計39件(うち査読付論文 15件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 10件)

1.著者名中島賢太郎	4.巻 123
2.論文標題	5 . 発行年
ソーティングと地域間経済格差	2022年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
住宅土地経済	18-26
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無無無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名 中村哲也・丸山敦史・増田聡	4.巻 74(1)
2.論文標題	5.発行年
震災10年後の福島の復興と再生に関する統計分析	2022年
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
季刊地理学	46-47
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4.巻
増田聡	76(3)
2 . 論文標題	5 . 発行年
被災地の地域建設業にとっての震災復興	2022年
3.雑誌名 信用金庫	6.最初と最後の頁 46-49
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
1 . 著者名	4 .巻
増田聡	111
2.論文標題	5.発行年
東日本大震災か ら の 復興検証試論:社会的インパクト評価と再帰的ガバナンス	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
ほくとう 総研機関誌 NETT	14-17
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著

#105	
1.著者名	4 . 巻
Nakamura Tetsuya、Lloyd Steven、Maruyama Atsushi、Masuda Satoru	16
2.論文標題	5 . 発行年
Public Reaction to Disaster Reconstruction Policy: Case Studies of the Fukushima and Chernobyl	2021年
Nuclear Accidents	2021
3 . 雑誌名	6 見知し見後の百
	6.最初と最後の頁
Journal of Disaster Research	1207 ~ 1233
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20965/jdr.2021.p1207	有
10.2000/jd1.2021.p120/	F
オープンアクセス	国際共著
	国际六有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
高木亨・山川充夫・初澤敏生・増田聡・瀬戸真之・深谷直弘・天野和彦・井出 明・近藤昭彦	16
	5.発行年
	I
原子力災害被災地,これまでの10年とこれからの10年 被災地復興とアーカイブズから地理学の果たす役	2021年
割を考える	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
E-journal GEO	352 ~ 355
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
	l l
10.4157/ejgeo.16.352	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
Nakamura Tetsuya、Lloyd Steven、Maruyama Atsushi、Masuda Satoru	16
2.論文標題	5.発行年
Impact on Fisheries in Contaminated Water Discharged from Nuclear Power and Reprocessing	2021年
Plants: The Cases of La Hague Reprocessing Plant, Sellafield Nuclear Fuel Reprocessing Plant,	
and TEPCO Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant	
and TELECO TURUSHINIA DATTOTT NUCLEAR LOWER FRANK	
2 1445+ 67	て 目知に目後の苦
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Disaster Research	840-865
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20965/jdr.2021.p0840	有
10.20303/ jui.2021.p0040	i ii
ナープンフクセフ	
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
野呂拓生	18(1)
2) In 1 Hat.	.5(.)
2 给外塘路	F 発仁生
2.論文標題	5.発行年
被災地域間産業連関表からみるサブライチェーンの変化と産業復興	2021年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
経済政策ジャーナル	33-46
<u></u> 掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	本芸の方無
	査読の有無
	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
コーラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1

	4 . 巻
1. 著者名	
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Kuchiki Akifumi、Maruyama Atsushi	15
, 於 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	F 琴/二左
2. 論文標題	5 . 発行年
Effects of Radioactive Contamination from the Semipalatinsk Nuclear Test Site on Behavior	2020年
Related to Food Choices: A Case Study of Kazakhstan	
,維誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Disaster Research	991-1010
Journal of Disaster Research	991-1010
 弱載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20965/jdr.2020.p0991	有
↑-プンアクセス	国際共著
=	国际共有
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
. 著者名	4 . 巻
R. Miyamoto, I. Sato, S. Masuda, A. Suppasri, and F. Imamura	5d-0012
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
2 . 論文標題	5.発行年
TSUNAMI FRAGILITY ANALYSIS FOR INDUSTRIAL AND COMMERCIAL PROPERTIES	2020年
TOUR WIT THROTETT AMERICA TON THEOGRAPH AND COMMENCIAL FROM THE	2020-
, 抽±4.夕	6 是初レ是後の百
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
17th World Conference on Earthquake Engineering Proceedings	-
引載論文のDOⅠ(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
1.著者名	4 . 巻
高千穂安長・ 増田聡	53
AA ALEEDE	- 7×./
2 . 論文標題	5 . 発行年
安心・安全なまちづくり:簡易政策評価による雪害死傷者減少の智恵づくり	2020年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日本都市学会年報	137 - 144
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	
 	査読の有無無無
なし	無
な し オープンアクセス	
なし	無
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	国際共著 - 4 . 巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1)
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹	国際共著 - 4.巻
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1.著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1)
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として 3 . 雑誌名	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として 3 . 雑誌名 開発学研究	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-16
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として 3 . 雑誌名 開発学研究	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-16
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として 3 . 雑誌名 開発学研究	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-16
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として 3 . 雑誌名 開発学研究	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-16 査読の有無 有
なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 1 . 著者名 中村哲也・増田聡・丸山敦史・矢野佑樹 2 . 論文標題 原発事故被害からの克服政策としての市民評価:ベラルーシを事例として 3 . 雑誌名 開発学研究	無 国際共著 - 4 . 巻 30(1) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1-16

1.著者名	4 . 巻
中村哲也・増田聡	30(1)
2.論文標題	5 . 発行年
	2019年
チェルノブイリ法と国家計画が果たしたベラルーシの農業復興	20194
│ 3.雑誌名	6.最初と最後の頁
開発学研究	43-56
page 3 wind	
日 学 と か	本芸の左仰
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カーノンアクピスとはない、又はオーノンアクピスが四粒	-
1.著者名	4 . 巻
Isoda Yuzuru, Masuda Satoru, Nishiyama Shin-Ichi	14(10)
Toold Tazara, maada carora, manyama anni Toni	(,
2 50-45-11111日	F 整仁左
2.論文標題	5 . 発行年
Effects of Post-Disaster Aid Measures to Firms: Evidence from Tohoku University Earthquake	2019年
Recovery Firm Survey 2012?2015	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Journal of Disaster Research	1030 ~ 1046
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.20965/jdr.2019.p1030	有
10.2000/jul.2010.p1000	
4.75.75.47	同哪 # 苯
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
4 ** ** ** **	4 . 巻
子石之	
1.著者名	
I.者看名 Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki	14(10)
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki	14(10)
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題	14(10) 5.発行年
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by	14(10) 5.発行年
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District	14(10) 5.発行年 2019年
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District	14(10) 5.発行年 2019年
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題	14(10) 5. 発行年 2019年 6. 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4. 巻 8
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan 3 . 雑誌名	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan 3 . 雑誌名	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan 3 . 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 429~429
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan 3 . 雑誌名	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan 3 . 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 429~429 査読の有無
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast, Japan 3 . 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 429~429
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast、Japan 3 . 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijgi8100429	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 429~429 査読の有無 有
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast、Japan 3 . 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) 10.3390/ijgi8100429 オープンアクセス	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 429~429 査読の有無
Nakamura Tetsuya、Masuda Satoru、Maruyama Atsushi、Yano Yuki 2 . 論文標題 Citizen Satisfaction and Continuing Intentions Regarding Support and Compensation Prescribed by the Chernobyl Act: A Case Study of the Russian Central Federal District 3 . 雑誌名 Journal of Disaster Research 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.20965/jdr.2019.p1086 オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である) 1 . 著者名 Isoda Yuzuru、Muranaka Akio、Tanibata Go、Hanaoka Kazumasa、Ohmura Junzo、Tsukamoto Akihiro 2 . 論文標題 Strengths of Exaggerated Tsunami-Originated Placenames: Disaster Subculture in Sanriku Coast、Japan 3 . 雑誌名 ISPRS International Journal of Geo-Information 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijgi8100429	14(10) 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 1086~1104 査読の有無 有 国際共著 - 4 . 巻 8 5 . 発行年 2019年 6 . 最初と最後の頁 429~429 査読の有無 有

. ***	
1 . 著者名	4 . 巻
中島賢太郎	A747
2.論文標題	5 . 発行年
交通インフラと地域経済	2019年
3.2	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
日交研シリーズ	1-16
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
カープンテアと人とはない、人はカープンテアと人が四世	-
. ***	
1.著者名	4 . 巻
増田聡	54
2.論文標題	5 . 発行年
- ^	2018年
00 1/2 かと 2 成火は乗りにユーミンファファー」附底にのに 2 C	2010-
3. http://dx	て 目知に目後の五
3. 雑誌名	6.最初と最後の頁
人間工学	S5-1
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5100/jje.54.S5-1	無
10.01007 []0.04.00	~**
オープンアクセス	国際共革
· · · · · · =· ·	国際共著
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	-
1.著者名	4 . 巻
增田聡、手島浩之、菅野拓、高田篤、松原久、新井信幸	54
2 . 論文標題	C 整件
	5.発行年
震災復興のヒューマンファクター:東日本大震災からの復旧・復興過程で明らかになった人的要因・人間	2018年
工学的課題	
3.雑誌名	6 . 最初と最後の頁
人間工学	S5-2
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
10.5100/jje.54.\$5-2	無
オープンアクセス	
	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著
オーブンアクセスではない、又はオーブンアクセスが困難	国際共著
	-
1 . 著者名	- 4 . 巻
	-
1.著者名 增田聡、稲葉雅子	- 4.巻 103(7)
1.著者名 増田聡、稲葉雅子 2.論文標題	- 4 . 巻
1.著者名 増田聡、稲葉雅子	- 4.巻 103(7)
1.著者名 増田聡、稲葉雅子 2.論文標題	- 4.巻 103(7) 5.発行年
1 . 著者名 増田聡、稲葉雅子 2 . 論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ	- 4.巻 103(7) 5.発行年 2018年
1.著者名 増田聡、稲葉雅子 2.論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3.雑誌名	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1 . 著者名 増田聡、稲葉雅子 2 . 論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ	- 4.巻 103(7) 5.発行年 2018年
1.著者名 増田聡、稲葉雅子 2.論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3.雑誌名	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁
1.著者名 増田聡、稲葉雅子 2.論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3.雑誌名 土木学会誌	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 10-11
1 . 著者名 増田聡、稲葉雅子 2 . 論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3 . 雑誌名 土木学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 10-11
1.著者名 増田聡、稲葉雅子 2.論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3.雑誌名 土木学会誌	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 10-11
1 . 著者名 増田聡、稲葉雅子 2 . 論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3 . 雑誌名 土木学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 10-11
1 . 著者名 増田聡、稲葉雅子 2 . 論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3 . 雑誌名 土木学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 10-11 査読の有無 無
1 . 著者名 増田聡、稲葉雅子 2 . 論文標題 復興・創生期間における観光振興の目指すところ 3 . 雑誌名 土木学会誌 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	- 4 . 巻 103(7) 5 . 発行年 2018年 6 . 最初と最後の頁 10-11

1.著者名	4 . 巻
吉田祐也、佐々木秀之、増田聡	2018
2 . 論文標題	5 . 発行年
東日本大震災における都市近郊農村の復興まちづくり:仙台市岡田地区の町内会組織の動向と行政施策と	2018年
の関連性の整理	
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
震災復興から俯瞰する未来社会と計画学 : 東北復興からの発信	67-70
辰久後突がら前職する不不性女と計画子 ・未心後突がらい元に	01-10
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子)	木はの左仰
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	_
3 DODDEN CHOOSE (NICH DODDEN)	
1 节20	4 . 巻
1. 著者名	_
磯田弦	70(3)
2 . 論文標題	5.発行年
災害地名調査のすすめ	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
季刊地理学	127 - 133
3 13 022 3	.27 100
担事金かのハノノニックリーナージュート「毎日フン	木はの左仰
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
カーノファフ にへてはない、 又はカーノファフ ピスが 凶無	-
1.著者名	4 . 巻
佐々木秀之、高橋結、吉田祐也	70(3)
	` '
2.論文標題	5.発行年
震災後7年目における住民自治組織の動向:仙台市を事例に	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
季刊地理学	172
チログを注 す	112
相手込みのロノノープックリーナープック・カー・かロリフン	本芸の大畑
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻
増田恥	2019.03
- B H-170	_3.0.00
2	F 36/-/-
2 . 論文標題	5.発行年
自治体復興計画の見直し、改定をどのように進めるか	2019年
3 雑誌名	6 最初と最後の百
月刊カハナンス	23-25
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
·6 U	////
	园咖井茶
	国際共者
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
3.雑誌名 月刊ガバナンス 掲載論文のDOI(デジタルオプジェクト識別子) なし オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	6 . 最初と最後の頁 23-25

4 # # # #	
1.著者名	4 . 巻
Kentaro Nakajima and Tetsuji Okazaki	71
2.論文標題	5 . 発行年
The Expanding Empire and Spatial Distribution of Economic Activities: The Case of Japan's	2018年
Colonization of Korea during the Pre-war Period	2010 T
	6 見知を見後の五
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
The Economic History Review	593-616
 	査読の有無
10.1111/ehr.12535	有
↑−プンアクセス	国際共著
ーランティセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
1.著者名	4 . 巻
中島賢太郎	110
2.論文標題	5.発行年
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
印场处按性CAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAAA	2018年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
住宅土地経済	22-28
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	本語の右冊
	査読の有無
なし	有
ープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
. 著者名	4 . 巻
佐々木伯朗	75(3-4)
2.論文標題	5.発行年
東北の経済および開発政策の歴史的特質について	2017年
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
·····································	175-188
WI几件 $+$ K社 H 于(本 4 L八子)	173-100
引載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
トープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	
. 著者名	4 . 巻
Hiroyasu Inoue, Kentaro Nakajima, and Yukiko Umeno Saito	43
	5.発行年
Localization of knowledge-creating establishments	2017年
. 雑誌名	6.最初と最後の頁
https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0922142517300580	23-29
載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	査読の有無
なし	有
トープンアクセス	国際仕事
ープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著
ひ フフェスにひしいなしまた。(ひじたしのる)	

1 . 著者名	4 . 巻
增田聡	9月号
2 . 論文標題	5.発行年
『防災』と『まちづくり』を『現場』で結びなおす:被害の軽減と確かな復興に向けて動き出すために	2017年
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
地域活性化センター『地域づくり』2017.9月号	2-5
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
	~~
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
4 ***	1 4 4 4
1.著者名	4.巻
Yuko Araki, Akihiko Hokugo and Satoru Masuda	-
	5.発行年
The Great East Japan Earthquake and Tsunami: Lessons for Land Use	2016年
	·
3.雑誌名	6.最初と最後の頁
Land Use Management in Disaster Risk Reduction: Practice and Cases from a Global Perspective,	325-351
Springer Japan	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
10.1007/978-4-431-56442-3	無
10.1001/010 1 101 00112 0	A.K.
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
1 . 著者名	4 . 巻 2016年11月号
增田聡	2016年11月号
2.論文標題	5.発行年
宮城の未来、復興へのまちづくり	2016年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
月間自治研	50-60
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	 査読の有無
なし	無
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-
	4 **
1 . 著者名 増田聡	4 . 巻 2017年3月号
但山榄	2017年3万万
2.論文標題	5.発行年
被災自治体のコミュニティ再生と自治体職員	2017年
3 . 雑誌名	6.最初と最後の頁
月刊ガバナンス	30-32
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)	<u></u> 査読の有無
なし	無
	,
オープンアクセス	国際共著
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	-

1.著者名 Akio Egawa 4.巻 35(1) 2.論文標題 The Importance of Quantitatively Comprehending the Advancement of Reconstruction following Disasters: Practical Examples from the Great East Japan Earthquake 3.雑誌名 Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 23-60	
2.論文標題 The Importance of Quantitatively Comprehending the Advancement of Reconstruction following Disasters: Practical Examples from the Great East Japan Earthquake 3.雑誌名 Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 5.発行年 2016年 6.最初と最後の頁 23-60	
The Importance of Quantitatively Comprehending the Advancement of Reconstruction following Disasters: Practical Examples from the Great East Japan Earthquake 3.雑誌名 Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 23-60 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
The Importance of Quantitatively Comprehending the Advancement of Reconstruction following Disasters: Practical Examples from the Great East Japan Earthquake 3.雑誌名 Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 4. 最初と最後の頁 23-60 23-60	
Disasters: Practical Examples from the Great East Japan Earthquake 3.雑誌名 Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 4. 最初と最後の頁 23-60 23-60 指載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
Disasters: Practical Examples from the Great East Japan Earthquake 3.雑誌名 Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 4. 最初と最後の頁 23-60 23-60 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
3.雑誌名 Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 6.最初と最後の頁 23-60 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
Social Science Institute of Keimyung University, Korean Social Science Review 23-60 掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.18284/jss.2016.06.35.1.23 有	
オープンアクセス 国際共著	
オープンアクセスとしている(また、その予定である)	
1 . 著者名 4 . 巻	
小野裕一 21(3)	
小野怡一	
0 *Ant-1818	
2. 論文標題 5. 発行年	
仙台防災枠組における目標設定までの道のり,用語・指標設定の現状,および災害統計グローバルセン 2016年	
ターについて	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
学術の動向 94-102	
3 1130 221 3	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
10.5363/tits.21.3_94 無	
オープンアクセス	
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 -	
1 . 著者名 4 . 巻	
柴山明寛 52	
, A. (1) 26	
2 . 論文標題 5 . 発行年 5 . 発行年	
·····	
震災アーカイプを利活用するための権利処理のあり方について 2016年	
3.雑誌名 6.最初と最後の頁	
東北地域災害科学研究 241-244	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) 査読の有無	
掲載論文のDOI (デジタルオプジェクト識別子) 査読の有無 なし 無	
なし 無	
なし 無 オープンアクセス 国際共著	
なし 無	
なし 無	
# は ままます	
なし 無	
# は ままます	
なし 無 オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平 4 . 巻 28(3)	
なし無オープンアクセス国際共著1.著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平4.巻 28(3)2.論文標題5.発行年	
なし 無	
なし 無	
# カープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平 4 . 巻 28(3) 2012 標本大震災の被災地企業における経済的復興の動向 『震災復興企業実態調査』2012 年~2015 年の結果より 6 . 最初と最後の頁	
なし 無	
# カープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平 4 . 巻 28(3) 2012 標本大震災の被災地企業における経済的復興の動向 『震災復興企業実態調査』2012 年~2015 年の結果より 6 . 最初と最後の頁	
# オープンアクセス	
# カープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平 4 . 巻 28(3) 2012 標本大震災の被災地企業における経済的復興の動向 『震災復興企業実態調査』2012 年~2015 年の結果より 6 . 最初と最後の頁	
# オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平 4 . 巻 28(3)	
# オープンアクセス	
# 大一プンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 国際共著 - 1 . 著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平 4 . 巻 28(3) - 2 . 論文標題 東日本大震災の被災地企業における経済的復興の動向 『震災復興企業実態調査』2012 年~2015 年の結 早より 3 . 雑誌名 季刊地理学 6 . 最初と最後の頁 236 - 236	
# オープンアクセス 国際共著 オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難 - 1 . 著者名 高世祐基・磯田弦・関根良平 4 . 巻 28(3)	

〔学会発表〕 計60件(うち招待講演 10件/うち国際学会 8件)
1 . 発表者名 東北大学震災復興調査研究プロジェクト
2 . 発表標題 東日本大震災からの産業再生・経済復興の検証と展望:10年の「 震災復興」の歩みは、被災地域に何を残したのか
3 . 学会等名 国立大学協会令和3年度防災・日本再生シンポジウム
4.発表年 2022年
1.発表者名
1 . 光校音石 増田聡・手島浩之・真壁かおり
2.発表標題
アフターボイス2021:復興検証を望む 、他地域の視点
3 . 学会等名
日本建築家協会東北支部アーキテクツウィーク 2021
4.発表年 2021年
1 . 発表者名
中村哲也・ 丸山敦史・ 増田聡
2 . 発表標題
震災10年後の福島の復興と再生に関する統計分析
3.学会等名
2021年度東北地理学会秋季学術大会
4.発表年 2021年
1
1.発表者名 増田聡・安田直民・佐藤翔輔・白川由利枝・遠州尋美・近藤民代・葛巻徹・高橋鉄男
2 . 発表標題
なぜ地元で復興検証が出来ないのか?
3.学会等名 みめギボイフ2024「東口木士雲等から10:1年日を迎えて利たちは何を語ることができるのか。
みやぎボイス2021「東日本大震災から10+1年目を迎えて私たちは何を語ることができるのか 」
4.発表年 2021年

4 DE-20
1.発表者名 増田聡
~ 및 II 기상
2 改丰福度
2 . 発表標題 震災11年目以降、何をすべきか(コメント)
辰灰川午日以降、門をすべさが(コグノド)
3.学会等名 日本NPO学会・開催校企画・東日本大震災を振り返る会
ロ平NF○子云・ 用惟权正画・米口平八辰火で派リ返る云
2021年
1.発表者名
手島浩之・宇都彰浩・真壁さおり・増田聡・安田直民・菊池遼
2 . 発表標題
みやぎボイス連携セッション
3.学会等名
日本NP0学会第23回研究大会
4 · 元农中
1.発表者名
小地沢将之・増田聡・村上早紀子
2 . 発表標題
生活関連施設の被害の状況
日本建築学会東北支部・令和3年2月13日の福島県沖の地震 災害調査速報会
4.発表年 2024年
2021年
1.発表者名
中村哲也・増田聡・丸山敦史・Steven Lloyd
こうたい病性 ハンフォード・サイトの浄化とまちづくりに関する意識調査 - アメリカ・ワシントン州を事例として -
3 . 子云寺石 2021年度東北地理学会春季学術大会
4 . 発表年
2021年

1. 発表者名
当田聡
2.発表標題
ここれでは 防災型土地利用規制の今:防集事業から立地適正化・流域治水論
的大王工作的用处的500000000000000000000000000000000000
3.学会等名
2021年度東北地理学会春季学術大会
4.発表年
2021年
1. 発表者名
T. Sato, A. Sakurai, A. Shibayama and S. Masuda
2.発表標題
Place-Based Activities of SENDAI BOSAI Leaders (SBLs) for Disaster Risk Reduction
The Based Notivities of Calabi Book Estates (GBES) for Bisaster Wisk Reduction
3 . 学会等名
17th World Conference on Earthquake Engineering
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
当日 職
復興研究と実践知:『震災復興研究センター』から『みやぎボイス』まで
3 . 学会等名
日本学術会議・地域研究委員会地域学分科会
· Water
4 . 発表年
2020年
1
1 . 発表者名 増田聡
但出物
2 . 発表標題
経済復興・産業再生の政策ツールグループ補助金制度の設計・導入・評価
2
3.学会等名
みやぎ震災研:震災復興10年検証枠組み検討ブレインストーミング(第14回)
4 · 光衣牛 2020年
<u> </u>

1. 発表者名
野呂拓生
2.発表標題
2 . 光衣標題 被災地域間産業連関表からみるサプライチェーンの変化と産業復興
饭火地域间性素理例衣からからサブブイデェーブの支化C性素後央
3 . 学会等名
日本経済政策学会第77回全国大会
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
野呂拓生
3002
2 . 発表標題
地域間産業連関表から見る被災地産業経済構造の変化
3.学会等名
生活経済学会第 36 回研究大会 (オンライン開催)
4 . 発表年
2020年
1.発表者名
中島賢太郎
2. 発表標題
実証都市経済学
3. 学会等名
統計数理研究所(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
中島賢太郎
2.発表標題
The Impact of the Opening of High-Speed Rail on Innovation
3.学会等名
京都大学都市経済ワークショップ(招待講演)
4.発表年
2019年
4010T

. 33.7.4.6
1.発表者名
中島賢太郎
2.発表標題
実証都市経済学
3.学会等名
日本大学経済学セミナー(招待講演)
. The fee
4.発表年
2019年
1 改主 4 夕
1.発表者名
高千穂安長・増田聡
自治体防災政策評価の有効性検証
3.学会等名
日本評価学会春季第16回全国大会
4.発表年
2019年
1.発表者名
Satoru MASUDA
2 . 発表標題
Economic Recovery in Tohoku Region after the Great East-Japan Earthquake
3.学会等名
Texas A&M U, Kobe U and Tohoku U Lectures and Meeting(招待講演)
A DESCRIPTION OF THE PROPERTY
4. 発表年 2010年
2019年
1.発表者名
・・・ 光 衣音号 - 増田聡
ישר איי
2.発表標題
経済復興・産業再生の政策ツール:グループ補助金制度の設計・導入・評価
3.字云寺石 東北大学災害科学国際研究所・復旧・復興制度勉強会
不心八十火百°17十四际WI几门:1克山:1友兴则反心洪云
4.発表年
2019年

1 . 発表者名 宮本龍・佐藤一郎・林晃大・増田聡
2 . 発表標題 企業の有形固定資産を対象とした津波損傷度曲線の構築
3.学会等名 2019年度日本建築学会大会(北陸)
4 . 発表年
2019年
4
1.発表者名 増田聡・手島浩之
2、 75 主 4年 175
2.発表標題 震災復興活動の市民参加型モニタリングと政策評価・提言:東日本大震災後の復興シンポジウム「みやぎボイス」の経験から
2 24 45 57
3.学会等名 日本都市学会第66回大会
4.発表年
2019年
1.発表者名 増田聡
2.発表標題 震災復興シンポジウム「みやぎボイス」にみる復興課題の変遷とラウンドテーブル型政策評価の可能性
3.学会等名
日本災害復興学会2019年度鳥取大会 日本災害復興学会2019年度鳥取大会
4.発表年
2019年
1.発表者名 増田聡
2 . 発表標題 震災復興のモニタリングと政策評価
3.学会等名 慶應義塾大学 Grand Design by Japan, 2019:Natural Disaster and Crisis Management (招待講演)
4 . 発表年 2020年
2020年

1.発表者名
増田聡
2. 艾丰福昭
2 . 発表標題 復興研究と政策評価・モニタリング:「震災復興研究センター」から「みやぎボイス」まで
IX大WINDCWAMIN Cーフランフ・ RXXIX大WINCンフ 」から VF Cの「入」ない
3.学会等名
っ・子云守石 日本学術会議・公開シンポジウム:復興の「いま」と「これから」 社会的モニタリングと震災アーカイブの役割(招待講演)
4.発表年
2019年
1.発表者名
Ken Komatsu, Yuzuru Isoda
2.発表標題
An Estimation of Tsunami Death Rate at Place of Activity Using Spatial Interaction Model'
3 . 学会等名
International Conference on Spatial Analysis and Modeling(国際学会)
4.発表年
204.0年
2010年
1.発表者名
佐々木伯朗、磯田弦、増田聡
2.発表標題
被災地経済と新たな産業立地・集積の可能性
3 . 学会等名
みやぎボイス2018 -次の社会の在り方につなげる試み
4 . 発表年
2018年
1.発表者名
佐々木伯朗(山田誠氏報告 討論者)
2. 及羊種時
2 . 発表標題 平成 2 8 年熊本地震と南阿蘇村の災害対応
T M, C O T IX 수사인反 C ITI인 IM(1) V/ X IT A J IV
2.
3.学会等名 日本財政学会第75回大会
4.発表年
2018年

1. 発表者名
櫻木晃裕
2 改丰福度
2.発表標題
被災地域住民の心理的構造
3 . 学会等名
宮城大学大学院基礎講座
T-00/(3)/(3)/(3)/(3)/(3)/(3)/(3)/(3)/(3)/(3)
4 . 発表年
2018年
* * *
1.発表者名
櫻木晃裕
2. 発表標題
被災地におけるリーダーシップ
2
3. 学会等名
浜松市教育委員会教員免許状更新講習
2018年
20104
1.発表者名
中島賢太郎
ፐ띠릿ᄉᄉᆘ
2 . 発表標題
都市とイノベーション
- W A Mr -
3.学会等名
日本経済学会秋季大会(招待講演)
, war
4 . 発表年 2019年
2018年
1
1 . 発表者名 増田聡
有山 ^物
2 . 発表標題
震災復興のヒューマンファクター
3 . 学会等名
日本人間工学会第59回大会
4. 発表年
2018年

1.発表者名 吉田祐也、佐々木秀之、増田聡
2 . 発表標題 都市近郊農村における復興まちづくりとコミュニティレジリエンス
3 . 学会等名 2018年度東北地理学会秋季学術大会
4.発表年 2018年
1.発表者名 佐藤健、柴山明寛、桜井愛子、増田聡
2.発表標題 仙台市地域防災リーダーによる地域に根差した防災活動
3 . 学会等名 第15回日本地震工学シンポジウム(15JEES)
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 吉田祐也、佐々木秀之、増田聡
2 . 発表標題 東日本大震災における都市近郊農村の復興まちづくり:仙台市岡田地区の町内会組織の動向と行政施策との関連性の整理
3 . 学会等名 2018年度日本建築学会大会(東北)、農村計画研究協議会「震災復興から俯瞰する未来社会と計画学 : 東北復興からの発信
4 . 発表年 2018年
1 . 発表者名 Satoru MASUDA
2 . 発表標題 Tohoku University Earthquake Recovery Firm Survey: Economic Recovery in the Tohoku Region after the Great East-Japan Earthquake
3 . 学会等名 Seminar on "Modeling Disasters in the Urban Environment" in the framework of the JST-SICORP Japan-Israel Collaborative Project
4.発表年 2019年

1.発表者名 増田聡
2 . 発表標題 震災復興の枠組の再検討:北海道胆振東部地震の事例から
3.学会等名 災害と経済に関する国際シンポジウム(神戸大社会システムイノベーションセンター) 4.発表年
2019年
1 . 発表者名 柳井雅也・増田聡・梅内淳・島田昌幸・Julia Gersterほか
2 . 発表標題 大震災復興後の起業と世界への発信
3. 学会等名 みやぎボイス2017:計画・制度とそこからから零れ落ちるもの
4.発表年 2017年
1.発表者名 Yuzuru ISODA
2 . 発表標題 東日本大震災の被災地における企業活動の復旧・復興の地域差 ~ 震災復興企業実態調査結果より ~
3.学会等名 World Bosai Forum/IDRC 2017 in Sendai(国際学会)
4.発表年 2017年
1 . 発表者名 Shin-Ichi NISHIYAMA
2 . 発表標題 Economic Recovery in the Tohoku Region after the Great East-Japan Earthquake Disaster
3 . 学会等名 World Bosai Forum/IDRC 2017 in Sendai(国際学会)
4 . 発表年 2017年

4 X + 4 D
1.発表者名 佐々木伯朗
在《小旧图
2 . 発表標題 震災後の宮城県における経済構造の変化と復興政策の現状
長火後の呂城宗にのける経済悔迫の受化と後興以来の現仏
3.学会等名 日本財政学会第74回大会
口平别以子云第74四人云
4 . 発表年
2017年
1.発表者名 Takuo NORO
TAINUO HONO
2. 水土+研究
2 . 発表標題 宮城県被災地域表(沿岸部・内陸部)の推計について:震災前後の構造を把握するための平成17年、23年、25年表(テスト版)の作成
ロッスポーススペッスな(ルチャードが呼中)のJERTIC ファーC・辰火則攻の博足で10個するに切り十成17千、23千、23千衣(ノスト放)のTF成
3 . 学会等名 World Bosai Forum/IDRC 2017 in Sendai(国際学会)
WUTTU DUSAT FUTUHH/TUKU ZUT/ III Senual (国际子云)
4 . 発表年
2017年
1
1.発表者名 Satoru MASUDA
Satoru masuda
2. 改字描码
2 . 発表標題 復興政策の評価:グループ補助金のケース
文元を大水~日 画・フルーノ 助山本・ツノース
2
3.学会等名 World Bosai Forum/IDRC 2017 in Sendai(国際学会)
morta bosar rotam/tbno 2017 in ochaal (国际于云)
4 . 発表年
2017年
1.発表者名 - 増田聡
但以 秘
2 . 発表標題 東北被災地の経済復興について
宋礼饭火地U)経済1を興にフいて
3.学会等名
ひょうご震災記念21世紀研究機構・第 2 回東日本復興研究会(招待講演)
4.発表年
2017年

1.発表者名
增田聡
2.発表標題
都市産業の復興モデル:東日本大震災後のグループ補助金制度の導入を事例に
3.学会等名
2017年度日本都市学会第64回大会
4 . 発表年
2017年
1.発表者名
2.発表標題 被災地における雇用の現状
版外地に切りる権用の統領
3. 学会等名
宮城大学大学院公開講座
□ 4.発表年
1
1.発表者名
櫻木晃裕
被災地におけるリーダーの育成
- 1 2 3 1 - 浜松市教育委員会教員免許状更新講習
4. 発表年
2017年
1.発表者名
1.完衣有右 佐々木伯朗
IT A WHAM
2.発表標題 電気後の食物における経済構造の変化を復興政策の現場
震災後の宮城県における経済構造の変化と復興政策の現状
3.学会等名
日本財政学会第74回大会
4 · 光农中 2017年

1.発表者名中島賢太郎
2 . 発表標題 ミクロ立地データを用いた集積検出とその応用について
3 . 学会等名 日本経済学会 2017年度春季大会
4 . 発表年 2017年
1.発表者名中島賢太郎
2.発表標題 Measuring the Supply Elasticity of Housing: The case of Japan
3 . 学会等名 Hitotsubashi International Workshop on Real Estate and the Macro Economy(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1.発表者名 Yuichi ONO
2 . 発表標題 Disaster damage statistics as one of the priority actions of the Sendai disaster prevention framework
3.学会等名 2017Global Platform for Disaster Risk Reduction(国際学会)
4 . 発表年 2017年
1 . 発表者名 Shin-Ichi NISHIYAMA
2 . 発表標題 Economic Recovery in the Tohoku Region after the Great East-Japan Earthquake Disaster
3.学会等名 東北大学・ポートランド州立大学共催LEOPプログラム
4 . 発表年 2017年

1.発表者名
一一柴山明寛
2 . 発表標題 近年の震災アーカイブの問題点と解決方法について
八十の辰久ノーガーノの印起品に肝穴川広について
2 学会学々
3 . 学会等名 平成28年度東日本大震災アーカイブ国際シンポジウム - 震災から6年経過した震災アーカイブの進化と深化(国際学会)
4. 発表年
2018年
1.発表者名
Table 1
東日本大震災からの復興過程で提起された「新しい都市学」の方向性
3 . 学会等名
日本都市学会(招待講演)
/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
4 . 発表年 2016年
1.発表者名
増田聡
2 . 発表標題
東日本大震災の被災体験と東北都市学会
3.学会等名
東北都市学会
4.発表年
2016年
1. 発表者名
增田聡
2 . 発表標題 震災復興政策の検証と新産業創出への提言
2 学会学々
3 . 学会等名 宮城県中小企業家同友会・同友会大学(招待講演)
口物亦可可正未须问及云 " 问及云八士(阳 阿 岬 /)
4.発表年
2016年

1.発表者名 磯田弦		
2.発表標題 コメンテータ:3.11その時,その後 震災を経験した総合大学による分野横断型災害研究の実践		
3.学会等名 日本地理学会 4.発表年		
2016年		
1.発表者名 柴山明寛		
2 . 発表標題 東日本大震災デジタルアーカイブにおける地理空間の重要性		
3.学会等名 日本地理学会		
4 . 発表年 2016年		
1.発表者名 高世祐基・磯田弦・関根良平		
2 . 発表標題 東日本大震災 の被災地企業における経済的復興の動向:「震災復興企業実態調査」 2012年~2015年の結果より		
3.学会等名 東北地理学会		
4 . 発表年 2016年		
〔図書〕 計13件		
1 . 著者名 東北大学大学院経済学研究科 地域産業復興調査研究プロジェクト編	4 . 発行年 2022年	
2.出版社 南北社	5.総ページ数 344	
3.書名 東日本大震災復興研究 東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望:10年の「震災復興」の歩みは、被災地域に何を残したのか		

1.著者名 みやぎボイス連絡協議会編	4 . 発行年 2021年
2.出版社 みやぎボイス連絡協議会	5.総ページ数 ¹⁴⁴
3.書名 東日本大震災復興シンポジウムみやぎボイス2021:東日本大震災から10+1年目を迎えて、私たちは何を語ることができるのか	
1.著者名 みやぎボイス連絡協議会編	4.発行年 2021年
2.出版社 みやぎポイス連絡協議会	5 . 総ページ数 ¹³⁸
3.書名 東日本大震災復興シンポジウムみやぎボイス2020:復興検証の検証を望む声	
1.著者名 増田 聡、中村 哲也、石塚 哉史	4 . 発行年 2021年
2.出版社 農林統計出版	5.総ページ数 ²²⁶
3 . 書名 大震災・原発事故以後の農水産物・食品輸出:輸出回復から拡大への転換に向けて	
1.著者名東北大学災害科学国際研究所	4 . 発行年 2021年
2.出版社 東北大学出版会	5.総ページ数 ²³⁰
3.書名 東日本大震災からのスタート:災害を考える51のアプローチ	

1.著者名	4 . 発行年
坂本直樹	2020年
2. 出版社	5.総ページ数
大成出版社	19
2 3700	
3.書名	
3 · 6 ロ 震災被害の波及とリスクシェアリング、廣野桂子・矢口和宏編『東日本大震災から10年 再生・発展にお	
ける課題の分析 経済分析とメンタルケアの視点から』	
17 CANAGONIA MENTANIA CANA ANA ANA ANA ANA ANA ANA ANA ANA A	
1.著者名	4.発行年
「・看看看 みやぎボイス連絡協議会編	4 . 光11年 2019年
のアピハイ人生給協議公舗	2019 T
2 山平C 5上	E 4小 A° こご来た
2. 出版社 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7. 7.	5.総ページ数
みやぎボイス2019:復興の終わりの始め方	146
2 74	
3 . 書名	
みやぎボイス連絡協議会	
1.著者名	4 . 発行年
大内秀明・増田聡・吉野博編	2018年
1	
2.出版社	5 . 総ページ数
	5 . 総ページ数 320
2. 出版社 鹿島出版会	
鹿島出版会 3.書名	
鹿島出版会	
鹿島出版会 3.書名	
鹿島出版会 3 . 書名	
鹿島出版会 3 . 書名	
鹿島出版会 3 . 書名	
鹿島出版会3.書名自然エネルギーのソーシャルデザイン	320
意島出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名	4 . 発行年
鹿島出版会3.書名自然エネルギーのソーシャルデザイン	320
意思出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名	4 . 発行年
意島出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名	4 . 発行年
鹿島出版会3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン1.著者名 みやぎ震災復興研究センター編	320 4.発行年 2019年
商島出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2.出版社	320 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
鹿島出版会3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン1.著者名 みやぎ震災復興研究センター編	320 4.発行年 2019年
商島出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2.出版社	320 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 鹿島出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2.出版社 クリエイツかもがわ 	320 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 鹿島出版会 3 . 書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1 . 著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2 . 出版社 クリエイツかもがわ 3 . 書名 	320 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 鹿島出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2.出版社 クリエイツかもがわ 	320 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 鹿島出版会 3 . 書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1 . 著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2 . 出版社 クリエイツかもがわ 3 . 書名 	320 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 鹿島出版会 3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1.著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2.出版社 クリエイツかもがわ 3.書名 	320 4 . 発行年 2019年 5 . 総ページ数
 鹿島出版会 3 . 書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン 1 . 著者名 みやぎ震災復興研究センター編 2 . 出版社 クリエイツかもがわ 3 . 書名 	320 4.発行年 2019年 5.総ページ数

1.著者名 日本建築学会編	4 . 発行年 2019年
2.出版社 丸善	5 . 総ページ数 ²⁷⁹
3 . 書名 東日本大震災合同調査報告・建築編11:建築法制/都市計画	
1.著者名 東北地理学会編	4 . 発行年 2018年
2.出版社	5.総ページ数 ²⁹⁰
3.書名 東日本大震災と地理学	
1 . 著者名 大内秀明・増田聡・吉野博編	4 . 発行年 2018年
2.出版社 鹿島出版会	5.総ページ数 301
3.書名 自然エネルギーのソーシャルデザイン	
1 . 著者名 みやぎボイス連絡協議会編	4 . 発行年 2016年
2.出版社 鹿島出版会	5 . 総ページ数 ²²⁴
3 . 書名 みやぎボイス 333人による一人称の復興史/ みやぎボイス2016	

〔産業財産権〕

(その供)

しての他」
防災経済コンソーシアム: 地震被害想定のシミュレーション
http://www.bousai.go.jp/kyoiku/consortium/index.html
東北大学・震災復興研究センター
https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/outline/
内閣府・防災経済コンソーシアム:地震被害想定のシミュレーション
http://www.bousai.go.jp/kyoiku/consortium/index.html
地域産業復興調査研究プロジェクト
https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/area/industry.html
地域産業復興調査研究プロジェクト(東北大学大学院経済学研究科)
http://rirc.econ.tohoku.ac.jp/area/industry.html
2021年度地域産業復興調査研究シンポジウム「東日本大震災からの産業再生と地域経済・社会の展望」
https://rirc.econ.tohoku.ac.jp/events/detail-,-id,1077.html

6	. 研究組織		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	佐々木 伯朗	東北大学・経済学研究科・教授	
研究分担者	(Sasaki Norio)		
	(10263550)	(11301)	
	小野 裕一	東北大学・災害科学国際研究所・教授	
研究分担者	(Ono Yuichi)		
	(00700030)	(11301)	
	櫻木 晃裕	宮城大学・事業構想学群(部)・教授	
研究分担者	(Sakuragi Akihiro)		
	(10331604)	(21301)	
研究分担者	野呂 拓生 (Noro Takuo)	東北福祉大学・総合マネジメント学部・准教授	
	(10711666)	(31304)	
	中島 賢太郎	一橋大学・大学院経営管理研究科・准教授	
研究分担者	(Nakajima Kentaro)		
	(60507698)	(12613)	

6.研究組織(つづき)

6	. 研究組織(つづき)		
	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
	磯田 弦	東北大学・理学研究科・准教授	
研究分担者	(Isoda Yuzuru)		
	(70368009)	(11301)	
	西山 慎一	神戸大学・経済学研究科・教授	
研究分担者	(Nishiyama Shin-Ichi)		
	(70614006)	(14501)	
	江川 暁夫	桃山学院大学・経済学部・准教授	
研究分担者	(Egawa Akio)		
	(70734276)	(34426)	
	坂本 直樹	山形大学・人文社会科学部・准教授	
研究分担者	(Sakamoto Naoki)		
	(80367937)	(11501)	
	柴山 明寛	東北大学・災害科学国際研究所・准教授	
研究分担者	(Shibayama Akihiro)		
	(80455451)	(11301)	
	, ,		

7.科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

[国际价九朱云]	
国際研究集会	開催年
世界防災フォーラム:Economic Recovery and Industrial Revitalization from the	2017年 ~ 2017年
Great East Japan Earthquake: Issues of earthquake recovery monitoring and	
regional economic analysis	

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------